

---

# 気持ち

藍図乃々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

気持ち

### 【Nコード】

N7303B

### 【作者名】

藍図乃々

### 【あらすじ】

平凡な生活の中に急に起こった感情。恋・素敵な響きのはずだけど叶わない恋・・・ってこんなにも辛いのか？

(前書き)

物語ではなく詩というか一人の女の子の気持ちをかいたものです。

あなたに出会わなければよかった……。  
いや、出会えてよかったのかな……。

あなたに出会ってお互いを知るようになって  
びっくりした。

あなたは私が思い描いていた理想像と一致したから。

でもね、あなたは振り向いてくれるはずないって  
わかってたよ。

あなたには長年連れ添った人がいたから。

ただあなたに会える日々が楽しくてとても幸せだった。

・人の欲って怖いね。私が欲張りなだけ？

あなたをもっと知りたくなって私をもっと知ってほしくて、

“もっともっと”って絶える事無く溢れてくる感情。

あなたは優しいから・私を暖かく見つめてくれた。

わかってた・その目が私だけを見てたんじゃないって事。

その時だけは私を見てくれてるって思いたかった。

ある日、あなたは私を包み込んでくれた。

あなたはとても温かかくて私の不安はどこかへ消えてしまいそうだった。

それと同時に私の頭の中は次々と湧いてくる疑問で破裂してしまい  
そうだった。

“なんで？” “あなたの中にいるあの人は？” “なんで私にかまっ  
てくれるの？”

聞きたいのに言葉に出ない・・・。  
ただ感情だけに乗り切れずに客観的に見てしまう自分が  
そこにいた・・・。

この時間が続けばいいと思ってしまっ自分が出て・・・。  
でも、やっぱり理解できなくて頭の中がぐちゃぐちゃすぎて、  
やっと聞けた言葉が「あの人の事好きなんですよ？」  
今思えば直球すぎたかもしれない。  
もっとほかの聞き方があったんだとおもう。  
けどそれがやっと発する事が出来た言葉だったの。

あなたは困った顔してた・・・。  
そして遠目がちに何かを考え、出した答えが

「好きだよ。」  
その声は弱々しかった・・・けどそれがほんとの気持ちなんだと思っ  
てた。

私が今まで生きてきているんな考えを知ってきた。  
でも相手がいる人に恋をするなんて考えはわからなかったし理解で  
きなかった。  
不倫や浮気なんて軽蔑気味だったしする人の気持ちがわからないっ  
て思ってたからね。

今なら気持ち分かる・・・  
なんてそんなにいるんな考え方できるほど器用じゃない。  
だから自分のしてる事が理解できず自己嫌悪の日々・・・

わたしの中に突然、貴方という存在が現われて  
今ではわたしの頭の中は貴方でいっぱい…。

そんな人に恋するなんて早くやめなきゃいけないって言い聞かせる  
自分と

会いたい…そばに居てほしいって思う自分。

正反対の気持ちと同時に頭の中にいる……。

私が寂しいとき電話してくれる。

会いたいと思つた時、“会おう”といつてくれる。  
やっぱりあなたは優しいから……。

でもね、あなたのその優しさに喜びきれない自分もいるの。  
だって常に《あの人》の存在が浮かんでくるから。

あなたのやさしさに触れるたびに、あの人が存在が私を苦しめる。  
そんな繰り返しが辛くて……。

もっと自分が強くなればいいのに、  
その辛さに耐えられない弱い自分がいて、  
ほかの人に頼っちゃったんだ。

その人の事好きになればあなたの事忘れられると思つたから。  
そんな弱い考えしか出来なかった……。

でも間違つてた……。  
忘れられない。それどころか以前より  
あなたを強く思ってしまう。

振り向いてくれないとわかっていても諦められない。

辛いだけなのに……。

でも貴方の事しか考えられない……。

本当に好きだからかな。

だから決めたの。

もう逃げない。もっと強くなる。

傷つくのをおれずあなたを想い続けます。

でもあなたに迷惑はかけないよ。

あなたの幸せ祈ってる、好きだから……。

そんなのただのきれいごとかもしれない……

自分の感情抑えきれなくなっただけあなたに迷惑かけちゃうかもしれない。

でもその時は、自分の気持ちに決心がついたときだと思っ。

あなたを忘れるためだから……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7303b/>

---

気持ち

2010年10月15日22時46分発行